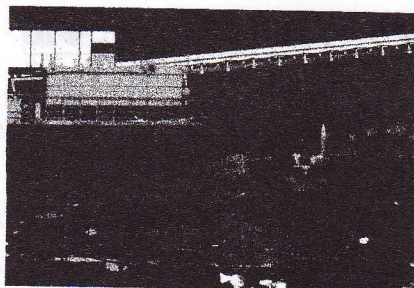
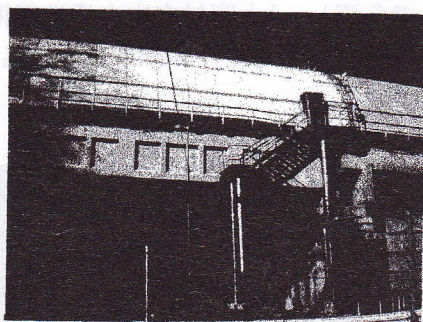


◆上黒駒の延伸トンネル工事現場

遠望したところ、トンネルを掘るため山腹の“のり面”をパワーシャベルで削っている最中でした。地中からの漏水でしょうか、それを逃す水路には勢いよく水が流れていました。



◆初狩の実験線あかり部分



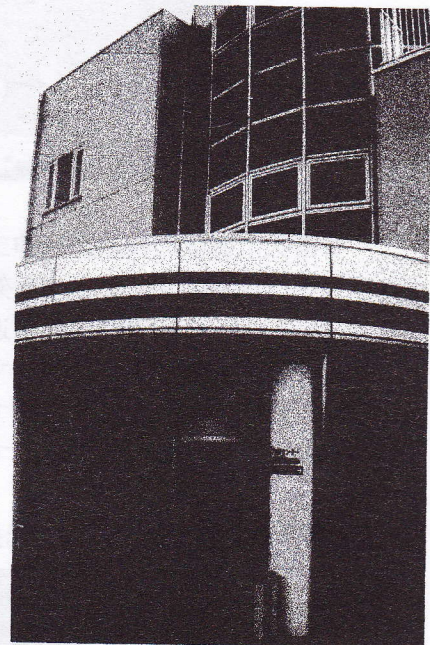
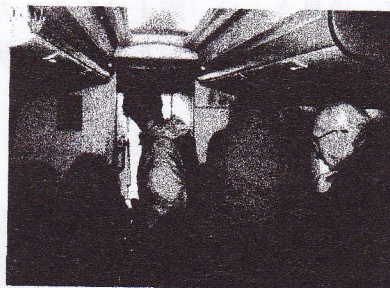
トンネルとトンネルの間の、あかり軌道。高架線路にはカバーが掛けられていて、実験車が走っても見えないようになっています。それが「磁気シールド」なのか、騒音防止のためかは分かりません。外観は、溝の口のノクティビルと丸井ビルをつなぐ空中連絡通路に似ています。

◆山梨県立リニア新幹線見学館

最後はこの場所、リニア新幹線のPRのため大月に作られた施設です。県立とは恐れ入りました。

実験線の軌道に隣接しており、工事車両が動いているのが見えました。1階は山梨のお土産とリニア・キャラクターグッズの販売スペース。2階はリニアの仕組み説明や紹介ビデオ放映など、展示スペース。3階は外を見られる展望ルームです。

施設入口に近い前庭に、実際の車両に似せた模型が置いてあり、皆で入りました。まさに旅客機の機内そっくりでしたが、座席に坐り正面に据えてある室内ビデオを見ようとしたところ、どうもビデオ機器は故障中、リニア新幹線の先行を暗示させました。



見学を終えて感じたこと

甲府でなかなか「リニア反対」が拡がらないのは、実験線を受け入れてしまったから、また中央道甲府南インター近くに地上駅が出来れば地元の振興が図れ、東京へのアクセスが格段に便利になると言うJR東海の宣伝が、一定の効果を上げている事、実験線の延伸工事や本工事で雇用が増大するとの期待があるのではと感じました。

また、表向きは実験線の延伸工事という触れ込みだが、本工事への布石を着々と打っていると思いました。